

言葉で伝え合おう

令和3年12月1日
静岡市立南中学校
学校だより12月号

「学校公開日 南中成長の秋」

校長 長尾 剛史

「食欲の秋 スポーツの秋 読書の秋 収穫の秋」南中は、この言葉に負けないほど、大きな実りの秋を迎えました。11月13日（土曜日）に実施しました学校公開日に、延べ400人近くの保護者の皆様にご参観を頂くことができました。参観時間を固定せず、流動的に工夫したこともあります。どれだけ保護者の皆様が期待されていたか感じ取ることができました。生徒たち、私たちも同じ気持ちで、成長と学び、集団のチーム感をご覧いただきたかった気持ちがあり、学校公開が実現できたことを嬉しく思っています。

11月の学校公開日には、今年度の成果を示しながら、来年度の学校経営構想を示す意図があります。生徒の授業での落ち着いた態度は勿論のこと、これまで学校だよりで紹介してきました教育活動の成果や、その変容の一部をご覧いただきたいと考えていました。

○新学習指導要領が求める 新たな資質・能力「学びに向かう力」への挑戦

○「主体的で 対話的で 深い学び」の授業

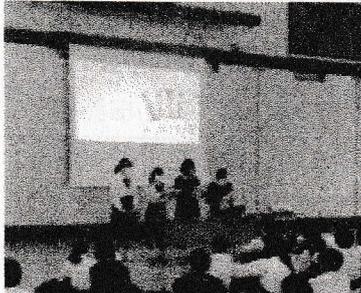
○ICT機器を活用したGIGAスクール化へのアプローチ「1人1端末」を活用

○Society:5.0の時代に向け主体的に課題を設定し、新たな見方や考え方を多角的に見出す「探究」授業を参観していただき、保護者の皆様から、こんな感想をいただきました。

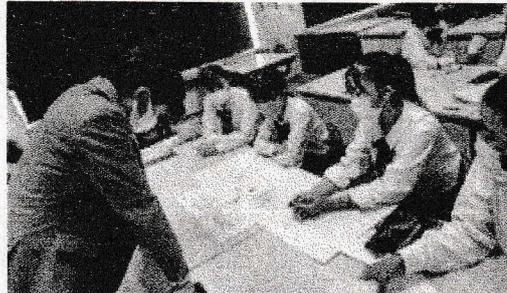
- ・こんな時期なのでピリピリやっているとあったが、みんな楽しそうに授業を受けていた。
- ・中2の保護者でありながら、初めての参観でしたので、やっと中学校生活や友だちを見ることができました。これからも参観の機会を増やしてもらいたいと思いました。
- ・コロナウイルスで制限された活動の中で、子どもたちがはつらつと楽しそうに学習に取り組んでいました。
- ・ビデオを見た後のグループで討議を行うことで、生徒の全体的なレベルアップに繋がっていました。
- ・身近な話題から課題が出されているので、子どもたちが意欲的に取り組んでいました。
- ・社会の授業で、ただ話を聞くだけでなく、参加型でとても良かったです。子どもたちがとても良い顔をしていました。
- ・Chromebookを使う授業を見ることができ、上の子の時代と違った授業を受けていることが分かりました。
- ・総合:探究「南中学区応援団」発表会は、各チーム発表の仕方を工夫して聞きやすく、分かりやすく、楽しく見ることができました。
- ・探究の「推し」の発表。我が子は、見ている側でしたが見て欲しいという「推し」があり、「鯛やき山口さん」に行かせていただきました。みんなよく調べてあり、本当にプレゼンが楽しかったです。
- ・探究の「推し」のプレゼン、イメージキャラクターやクーポン券の発想など、これからの社会に繋がる発表で良かったです。パソコンでスライドを普通に使っていて驚きました。工夫として「推し」の位置が分からず、学区を応援しようとする全体像を「推しマップ」にして見たかったです。

小中一貫教育南中グループの教育コンセプトは「タフでつよい人づくり」です。新たな学力観を取り入れ、南中の特色ある教育活動を創造しています。そのただ中での学校公開に意味を感じています。

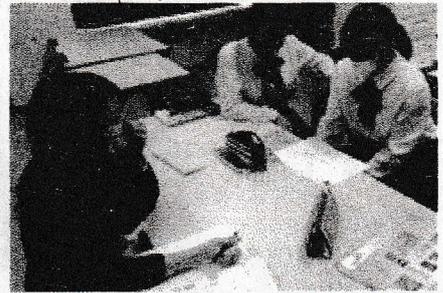
また新たな挑戦として、現在2年生の総合では、キャリア学習として 探究「エンジン」に取り組んでいます。このプログラムには、鈴木商事・SBS・静岡銀行・KENTEM・RYOB1の企業が、直接授業に係り、各チームのイノベーションに期待をしています。いわゆる「令和の教育」がwithコロナと共に始まっているのです。引き続き、南中の教育展開と生徒たちの力強い成長にご注目ください。



学区応援団の「推し」発表



探究「エンジン」鈴木商事へのプレゼン



大人が発想できない企画開発を